

正 誤 表

下記の部分に誤りがありましたので訂正させていただきます。

ご迷惑をおかけし大変申し訳ございません。

2019 秋 徹底解説 応用情報技術者 本試験問題

No	訂正箇所	誤	正
1	H30 秋 -140 問 77 解説	<p>売上高が 7,000 万円のとときと 9,000 万円のとときの利益から、共通する変動費を求めると。</p> <p>利益＝売上高－変動費－固定費となるので、それぞれの値をこの式に代入して、連立方程式によって変動費を求める。</p> $600 \text{ 万円} = 9,000 \text{ 万円} - \text{変動費} - \text{固定費} \quad \cdots\text{①}$ $-200 \text{ 万円} = 7,000 \text{ 万円} - \text{変動費} - \text{固定費} \quad \cdots\text{②}$ <p>①－②で変動費を求めると</p> $800 \text{ 万円} = 2,000 \text{ 万円} - \text{変動費}$ $\text{変動費} = 1,200 \text{ 万円}$ <p>となる。変動費率は、変動費／売上高で求められるため、前記の売上高 2,000 万円を代入して、変動費率＝1,200 万円／2,000 万円＝0.6 となる。</p> <p>問われているのは、売上高が 8,000 万円のとときの変動費の値である。売上高が変わっても、変動費率は変わらないことから、8,000 万円×0.6＝4,800 万円が変動費となる。したがって、(ウ) が正解である。</p>	<p>売上高が 7,000 万円のとときと 9,000 万円のとときの利益から、売上高が 8,000 万円のとときの変動費を求める。</p> <p>変動費率＝変動費÷売上高から、変動費＝売上高×変動費率で求められる。</p> <p>利益＝売上高－(変動費＋固定費)なので、それぞれの売上高の場合の式に変動費率で求めた変動費を代入し、連立方程式によって変動費率を求める。</p> $600 \text{ 万円} = 9,000 \text{ 万円} - (9,000 \times \text{変動費率} + \text{固定費}) \quad \cdots\text{①}$ $-200 \text{ 万円} = 7,000 \text{ 万円} - (7,000 \times \text{変動費率} + \text{固定費}) \quad \cdots\text{②}$ <p>①－②で各式に共通する固定費を消去すると、</p> $800 \text{ 万円} = 2,000 \text{ 万円} - (9,000 - 7,000) \times \text{変動費率}$ $2,000 \times \text{変動費率} = 2,000 \text{ 万円} - 800 \text{ 万円} = 1,200 \text{ 万円}$ $\text{変動費率} = 1,200 \text{ 万円} \div 2,000 \text{ 万円} = 0.6$ <p>問われているのは、売上高が 8,000 万円のとときの変動費なので、8,000 万円×0.6＝4,800 万円となる。したがって、(ウ) が正解である。</p>